

令和 8年 7月31日

山梨県企業局 電気課

課長 土橋 一満

電話 055-223-5389 (内線 5950)

報道関係者各位

小水力発電所「深城第二発電所」が運転開始

山梨県企業局は、大月市において整備を進めてきた県営小水力発電所「深城第二発電所」の運転を開始しました。

同発電所は、県営29番目の水力発電所であり、「やまなし小水力ファスト10」の7番目となります。

なお、発電した電力は、再生可能エネルギー固定価格買取制度（FIT制度）により売電します。得られた収益の一部は、県の重要施策へ活用し、県民福祉の向上に貢献して参ります。

県企業局は、今後とも脱炭素社会の実現に向けて再生可能エネルギーの導入拡大を進めていきます。

1. 発電所諸元

- ・最大使用水量：毎秒1.0立方メートル
- ・最大出力：152キロワット
- ・年間発電電力量：約90万キロワットアワー
(一般家庭約275世帯分の年間使用電力量に相当)
- ・年間二酸化炭素削減量：約400トン

※詳細は添付のリーフレットをご覧ください。

2. 報道機関向け現地取材のご案内

深城第二発電所の運転開始に伴い、次のとおり現地取材をお受けします。

- ・日時：令和8年8月6日（木）午前11時から正午まで
- ・場所：深城第二発電所（大月市七保町瀬戸2304-25）
- ・集合場所：深城ダム管理事務所駐車場（大月市七保町瀬戸2308-11）

※取材を希望される場合は、8月5日（水）15時までにご連絡ください。

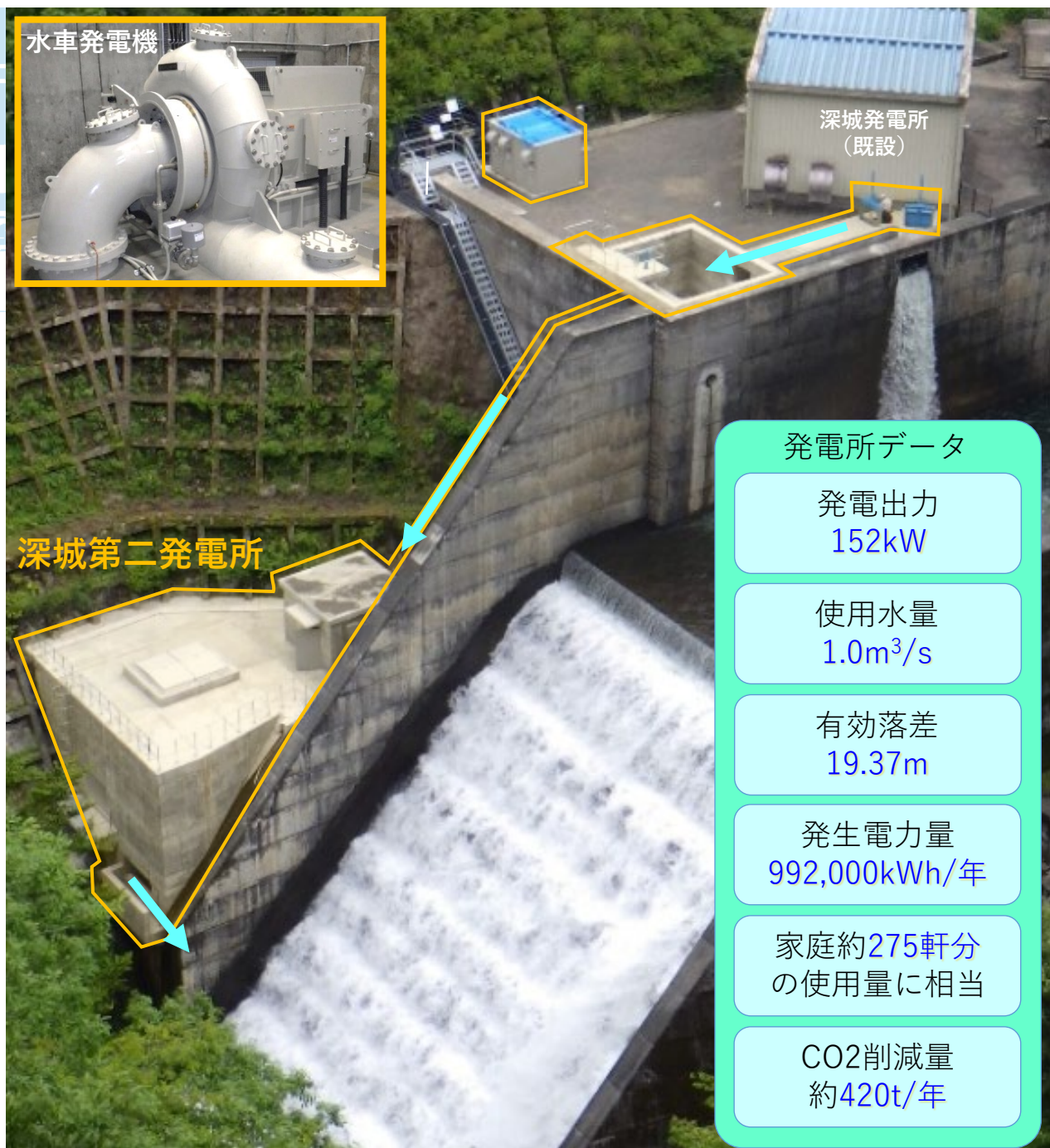
なお、発電所へは深城ダム施設内を通行するため、午前11時までに集合場所へお越しください。

山梨県営

ふかしろだいはつでんしょ

深城第二発電所

～ 既設の深城発電所から放流される水を有効活用した小水力発電所 ～



発電所データ

発電出力
152kW

使用水量
1.0m³/s

有効落差
19.37m

発生電力量
992,000kWh/年

家庭約275軒分
の使用量に相当

CO2削減量
約420t/年

・特 徴

- ①既設の深城発電所の放流水を活用し、未利用の落差エネルギーで発電
- ②遠隔操作ツールを導入し監視制御システムを省力化

・所 在 地 山梨県大月市七保町瀬戸2304-25

(令和8年7月運用開始)

やまなし小水力ファスト10

山梨県企業局では再生可能エネルギー導入促進のため10箇所程度の小水力発電所の建設に取り組んでいます。本発電所は7番目の発電所です。

深城第二発電所 概要図

既設深城発電所の放流水を有効利用する小水力発電所

深城第二発電所は、既設の深城発電所から放流される水を有効活用する小水力発電所です。水槽で取水した水を鉄管路で下部の発電所へ導き、水槽との落差を利用してクリーンな電力を生み出します。

1 深城発電所（既設）



深城ダムの放流水を利用して発電を行う既設の発電所です。

2 深城第二発電所用水槽（調整・取水設備）



既設発電所の放流水を受け、安定した取水と水位を調整するための水槽です。

3 鉄管路



水槽から下部の発電所まで水を導くFRPMの導水管です。落差を利用して水を流下させます。

4 深城第二発電所（コンクリート造建屋）



落差エネルギーを利用して発電を行う発電所です。



※イメージ図であり実物とは若干異なります

問い合わせ先

- ・山梨県企業局電気課 TEL:055-223-5390
- ・山梨県企業局発電総合制御所 TEL:055-278-1211

HP <https://www.pref.yamanashi.jp/kigyo/>